



ホームページが
リニュアル
します

令和6年 11月29日
千代田区立いずみこども園
園長 穴原江美

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

表現活動の楽しさ

幼児部副園長 佐藤 まゆみ

朝晩の寒さも日に日に増し、冬の訪れを感じる季節となりました。街はイルミネーションやクリスマスの飾りで、一段と華やかに色づいています。今年も残すところ1か月になりました。

11月のある日、こども園の玄関ホールに閻魔大王が登場しました。12月14日に、4・5歳児が表現活動【いずみポケットシアター】を行います。そこで5歳児が劇で使用する大道具です。また、演目の場面となる地獄のアイデア募集中という張り紙もあります。「べとべとじごく」「はさみうちじごく」「ちくちくじごく」など、子どもたちが考えたいろいろな地獄が書かれています。その中に「ためいきじごく」と書かれていて、思わず目に留まりました。溜息を嫌なものだと5歳児は感じているんですね。

ここ数日、劇に向けての道具作りを、みんなで意見を出し合い考えながら作業を進めている様子が見られ、職員室に聞こえてくる会話もとても楽しそうです。クラス総出で取り組んでいる様子が気持ちよく感じられます。歌や合奏も日に日に上達しています。5歳児年長組のパワーを見せつけてくれて、頼もしく、嬉しく思います。

4歳児では、子どもたちから遊んでみたい劇があって、提案されたそうです。保育室に大きなドアが出来上がっていたので見に行くと、すぐに4～5名の子どもたちが来てドアの紹介が始まりました。ドアの開く方向や色を塗ったことなどをちょっぴり自慢げに話してくれました。立派な木も制作中で、子どもたちと一緒に葉っぱの色付けなど行い、完成させていくそうです。劇中で踊る場面では、担任の方で考えていた曲があったようですが、子どもたちからリクエストがあり取り入れたそうです。なんとパラパラダンスの曲ということです。

子どもたちは、日々の生活体験を通して、イメージを思い描いています。そして、周りの環境からいろいろな刺激を受け、自分のもっているイメージを言葉や動作などで表現しています。【いずみポケットシアター】では、表現活動の一端をご覧ください。3歳児・乳児部の子どもたちも、リハーサルや園児鑑賞日に鑑賞して、表現活動の楽しさを味わいます。参観する保護者の皆様にも、子どもたちの表現活動の楽しさを共感しながら鑑賞していただきたいと思います。

11月22日に、幼児クラスは、コーディネーショントレーニング指導を受けました。4・5歳児は、経験済みですが、3歳児クラスは今回が初めてでした。参観された保護者の方も感じられたと思いますが、講師の言葉掛けで、3歳児みんなが楽しく体を動かすことができました。講師の毛利先生にも「初めてなのに、人数も多いのに、クラスみんなで一緒に動くことができるとすごかったです。」と、褒めていただきました。

12月3日にも予定しています。参観ができますので、ご都合のつく方はどうぞ、いらしてください。

